

いつも、人から。そして、心から。

11月7日(日) 四ヶ町アーケードにて
厚生労働省の定める「介護の日」を周知・啓発する
チラシ配布やパネル展示(写真)を実施

長崎国際大学人間社会学部社会福祉学科と長崎短期大学保育学科介護福祉専攻では、厚生労働省の定める11月11日(木)の「介護の日」に先立つ11月7日(日)に、教員や学生が四ヶ町アーケードにおいてチラシ配布や介護関連施設から提供いただいたパネル展示(写真)を行い、介護の意義や重要性の周知・啓発を行います。

1. 「介護の日」の趣旨と背景

厚生労働省は、平成20年に「“介護について理解と認識を深め、介護従事者、介護サービス利用者及び介護家族を支援するとともに、利用者、家族、介護従事者、それらを取り巻く地域社会における支え合いや交流を促進する観点から、高齢者や障害者等に対する介護に関し、国民への啓発を重点的に実施するための日”として、「11月11日」を「介護の日」(厚労省HPより)」として定めており、地方公共団体、関係団体、関係する事業者等と連携し、「介護の日」を中心とした介護の意義や重要性についての周知・啓発活動を、毎年全国で行っています。

2. 長崎国際大学と介護の日の関係

長崎国際大学は、人間社会学部社会福祉学科において「介護福祉士」の養成を行っています。高齢社会の進展する中、特に島嶼部を多く持ち高齢化率が全国でも高い長崎県において、誰もが関わることになる介護の意義や重要性について市民に周知・啓発を地域の介護人材養成機関が行うことは、教育とともに大学の重要な役割だと認識しています。

そこで今年度も「介護の日」を前にして、日本介護福祉士養成施設協会と連携し、また、同じく介護福祉士の養成課程を持つ長崎短期大学とも協力して、佐世保市内の街頭にてチラシ配布やパネル展示(写真)を行い、介護に対する市民の方のイメージの改善や理解の向上を目指します。

3. スケジュールと内容

- 1) 日時：平成22年11月7日(日) 13:00~15:00
- 2) 場所：佐世保市島瀬町 親和銀行本店前(四ヶ町アーケード内)
- 3) 内容：① 介護の意義や重要性を啓発するチラシの配布
② ブースを設けてのパネル展示(写真)

※ 写真は、介護現場における「喜び・楽しみ・嬉しさ」をテーマに、職員と利用者の方の生き生きとした様子を表現したものを、県内の介護関係施設から提供していただいたものです。

4. 本取組の担当者

➤ 山口 孝

介護に関する進路選択・学生支援専門官
学校法人九州文化学園 理事
長崎国際大学 前事務局長



➤ 柳 詰 慎一

長崎国際大学 人間社会学部 社会福祉学科 助教
介護福祉士、社会福祉士を取得
「コミュニケーション技術」「生活支援技術Ⅱ・Ⅲ」
「介護実習Ⅰ」「介護総合演習Ⅰ」等を担当



長崎国際大学は平成 22 年に 10 周年を迎えます。
人間尊重を理念に、文化と健康を大切にする社会の実現に
引き続き貢献して参ります。

【この件に関するお問い合わせ】

長崎国際大学 教育改革推進室(担当:松永・安部)

Tel: 0956-39-2020 ✉: kaikaku@niu.ac.jp